

2024年7月10日

兵庫県知事

齋藤 元彦 様

兵庫県職員労働組合

中央執行委員長 土取 節夫



申 入 書

この間、文書問題を巡っては、文書を作成・配布した元西播磨県民局長への処分や第三者委員会が設置されたことを受け、労働組合として、組合員を守る立場で、人事当局に申入れを行い、職員の動揺を訴え、ハラスメントの防止、職場への影響を最小限にするよう求めてきました。

その後、文書の内容の真偽を調べるために、兵庫県議会で51年ぶりに百条委員会が設置されたことで、真相究明が行われ、県民の信頼回復を取り戻し、職員が安心して働ける職場環境の整備に繋がるものと期待していました。

その矢先、百条委員会での証言を目前に、元西播磨県民局長が死亡したとの報道が行われました。

告発をした職員を守ることが出来なかったことは痛恨の極みです。

文書問題の発生以来、現場の業務遂行には大きな支障が生じている状況であり、県政が停滞し、もはや県民の信頼回復が望めない状況になっています。

以上のことを鑑み、兵庫県職員労働組合として、知事として責任ある対応を求めます。